

令和5年度第3回京都市民健康づくり推進会議 摘録

1 日時 令和6年3月27日(水) 17:00~18:00

2 場所 京都府医師会館 601・602会議室 (ZOOM併用)

3 次第

(1) 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進担当局長 谷利 康樹

(2) 議事

① 「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン(仮称)」骨子案に対する市民意見募集の結果について

② 「京都市 健康長寿・口腔保健・食育推進プラン」最終案について

事務局	・ <u>資料5-1</u> を用いて市民意見募集の実施と結果、 <u>資料6-1</u> を用いて意見等を反映した最終案を説明。
議長	・ 各部会の開催も含め、いろいろと検討を重ね、丁寧に対応いただきありがとうございます。 実際に意見を提出いただいたのはどのような方々か。個人からか。
事務局	・ 市民意見は匿名でいただくため、お住まいの区と年齢層・職業以外は不明。
議長	・ わかりました。257件という件数はよく集まった方なのか。
事務局	・ 同時期に市民意見募集を行った他のプランも同程度の意見が集まった。 ・ 議題1・2について、その他意見なし。 ・ 続いて、 <u>資料7</u> を用いて、京都市民健康づくり推進会議に係る部会の再編について、事務局から説明
議長	・ これから国の健康日本21第三次が新しく始まるということを踏まえ、京都市としても、会議を見直して、より効率的に良い形で検討を深められるように、それぞれを関連させながら検討を進められるように、体制の再編を提案するということだが、いかがか。
身体活動・運動推進部会長	・ 前の部会でも京都市から説明があり、基本的な方針に全く異存はない。その時にも意見したことではあるが、今年度は、身体部会・運動部会・

	<p>口腔保健部会・食育推進部会が合同で議論を進めてきて、このように役割分担しつつも、お互いの部会の交流はすごく大事なことだと自分自身実感した。ぜひ、こういう形で3つの部会に再編していく形で進めつつ、年に1回でも、何らかの部会同士の交流を図って情報交換する機会があれば、より全体としていいものができると思う。今回もよいものができたと実感しているため、ぜひ交流の機会をもたせていただきたい。</p>
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会の皆様にはたくさんのご負担をお掛けしたが、今後も連携の機会を設けたいと前向きに考えていただきありがとうございます。事務局においても、この意見は大切にしていきたい。 せっかくなので、各部会長から一言ずついただきたい。
<p>たばこ対策推進部会及び適正飲酒推進部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体活動・運動推進部会長と全く同意見であり、それぞれの部会が非常に重要であり、いろいろな情報を共有しながら、ともに歩める形にしていただけたことを感謝している。
<p>食育推進部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ やはり、この間、合同でお話をさせていただき、各部会がお互いどんなことを取り組んでいたかという、情報共有ができたため、引き続き、合同の機会を設けていただいて、進めていくのが良いと思う。
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。新しい部会の人数などは決まっているのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、この再編案を承認いただいたあと、委員構成等については考えていきたいと思っている。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりました。新体制については、各委員の皆様も前向きに考えていただきありがとうございます。 議事としては以上ですが、せっかくですので副議長、会場にいらっしゃる委員のみなさま、一言お願いします。
<p>副議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の会議は参加できず、今回ほとんど初めて参加するような状況であるが、今後、部会を再編されるということで、取組やうまくいくやり方を考えていければと思う。
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。引き続きご助言ご指導どうぞよろしく願いいたします。 続いて、市民公募委員の方からどうぞ。
<p>戸田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間、3回の部会と3回の本会に参加した。ありがとうございました。

	<p>京都らしいというキーワードのもとに、市長のコメントにも「魅力ある京都」とある。このプラン全体も、やはり京都らしさ・京都の魅力を盛り込んであるため、今後周知するときは、単にこれは国に合わせたものではなく、京都市らしい取り組みをやっているんだということをぜひアピールしていただき、本当に市民の皆さんが、歩いて、おいしいものを食べて健康に、ということが浸透していけばいいと思う。</p>
<p>地域女性連合会</p>	<p>議 長 ・ ありがとうございます。京都らしい魅力、というのは強みであるため、健康づくりとつなげて、今後も京都市と委員で知恵を集めていきたい。</p> <p>・ 女性会は、構成員が全員元気で活動しているため、介護に関することなどに意見することはできなかったが勉強になった。</p>
<p>保健協議会連合会</p>	<p>議 長 ・ たくさんの会議に出席いただきありがとうございました。特に、国でも女性の健康について強調されているところであり、いろんな取組・活動について見直す必要があると思っている。生活の中で実感していることを発言いただくことが大事である。引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>・ 下京区で保健協議会の委員をしているが、定年以降に地域の活動（スポーツチームや老人クラブ等）に参加する人が減ってきているように思う。専門的な知識がなくても、健康的に体を動かしたり、人と交流したりという機会は、健康づくりに大切だと思う。定年が延長されたためか、基本的にそういった活動に参加するのを好まない人が増えたのか分からないが、どの団体も人が減って困っている。良いアプローチの仕方やアイデアがあれば教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>・ 今回のプラン策定に向けた調査でも、地域活動への参加については、コロナ禍で地域参加を控えていたが、また少しずつ戻ってきているという結果ではある一方で、まだ戻りきっていない状態。本プランの観点からすると、地域参加は健康にも寄与すると訴えて、社会参加を促すプランの内容とさせていただいている。</p>
<p>労働者福祉協議会</p>	<p>議 長 ・ コロナ禍の4年で、地域の活動が止まってしまったのは事実であり、様々な活動がまだまだ戻ってくる余地があると思う。</p> <p>・ 労働者の福祉協議会として、ライフサポートセンターの設立などし、OBに相談員を募集しているところであるが、65歳、70歳でもまだまだ多くの方が働いておられる。相談に来られる方も、同じように高齢の</p>

	<p>方が多いため大変助かっている。そういったところの視点から、今後も意見できればよいと思っている。</p> <p>また、もう一点、健診受診率が上らないのは、市民が公共交通機関を利用しにくい状況（オーバーツーリズム）も理由のひとつではないか。京都市として対応をお願いしたい。</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市が魅力的なところのひとつとして国内外から観光客が集まっているところがあるが、住民の生活が圧迫されているのは事実である。京都市としても、縦割りの対策や取組ではなく、横断的に議論していただきたいところである。
京都府医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診受診率低下とオーバーツーリズムは関係していると思うため、ぜひ検討していきたい。また、生活習慣病予防部会というのが新たに部会として設置されたことにつきましては我々大変重い位置付けだと認識している。京都府医師会には健康日本21対策委員会であるとか、肺癌対策委員会で深い議論を進め、また皆様ともさらなる情報共有をしていきたいと思う。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府医師会としても様々な問題に取り組んでいただいているところであるが、引き続きよろしく申し上げます。
保健所参事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は様々な貴重な御意見ありがとうございました。他部局とも連携しながら、プランの推進を進めて参る。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。 オンライン参加の方からの御意見はなさそうですので、本日の議論は終了させていただく。お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。

(3) 閉会挨拶 京都市保健所長 池田 雄史